

# ピーマン (ナス科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	(苗購入) ○ ———— 定植 ○ ———— 収 穫 : 7月上旬~10月上旬 第1花開花直前頃																				
	※自家育苗の場合 : は種時期を3月上旬~下旬とし、育苗期間は70~80日																				

表 1 主な品種

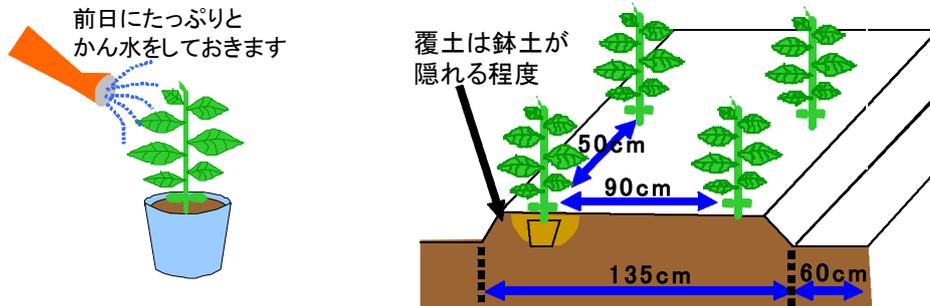
品種名	早晩生	果色	その他の特性
あきの	早生	濃緑色	果実は中長系の品種で、果肉は薄いですが肥大性が良い。高温での生育が良くウイルス病に強い。草姿半開性で分枝は強い
エース	極早生	濃緑色	果実は長めの中肉獅子型品種。大果にすると果皮が硬くなる。尻は3~4凸に良く揃う。草姿はやや立性で草丈は短い

## 1 栽培管理

### ①畑の準備

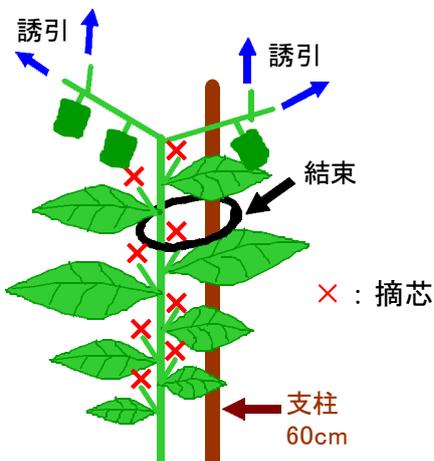
- ・ピーマンは、栽培期間が長いわりには、根張りの弱い作物なので、土作りは充分に行います。
- ・堆肥・苦土タンカル・施肥・ベット作り・マルチは、なすに準じます。

### ②定植



### ③管理

- ・草勢が弱い場合は1番果を摘果します。



## 2 収穫の目安

- ・収穫適期の判定は、果の大きさによりますが、低温期や乾燥条件では果皮の硬いものや、着色果が混入しやすいので注意します。
- ・第1~3番果は草勢が弱い時なので、30g前後の若どりを励行します。
- ・採光や通風が悪くなると着果不良や不良果の発生が増加するので、収穫が終わった側枝は、1節残して切り落とすようにします。